

2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東
 コード番号 6156 URL <http://www.a-one-seimitsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也 (TEL) 042-363-1039
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第1四半期の業績(2020年7月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	337	△27.4	62	△51.7	63	△51.1	43	△51.2
2020年6月期第1四半期	465	△8.8	129	△23.5	130	△23.8	89	△24.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	9.15	—
2020年6月期第1四半期	18.74	—

(注) 当社は2020年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
 前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	8,812	8,163	92.6
2020年6月期	9,019	8,361	92.7

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 8,163百万円 2020年6月期 8,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	924	0.4	247	△0.8	252	△1.0	170	△3.4	35.48
通期	1,850	5.1	479	6.2	488	5.7	328	2.9	68.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年6月期1Q	6,000,000株	2020年6月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	1,201,504株	2020年6月期	1,201,504株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年6月期1Q	4,798,496株	2020年6月期1Q	4,798,496株

(注) 当社は、2020年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数 (自己株式を含む)」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」(四半期累計)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、世界の経済活動が一時的に停止状態に陥った影響を受け、大きく減速しましたが、8月には底を打ち9月は少し回復の兆しが出てきました。

世界的に製造業では、昨年からの受注減少傾向に転じていましたが、一部では次世代通信規格に関連する半導体や電子部品などの分野で生産増も見られました。しかし、今年の4月以降新型コロナウイルスの影響で、輸送用機器、航空機などの量産加工も大幅に減少し、関連する素材、部品メーカーも大幅な減産となりました。当社の第1四半期に入り7、8月は、それまでの流れを受けさらに受注は減少して、9月に入ってから多少動きが出始め、やや戻してきました。

日本国内では、このところの企業業績悪化にともない、大規模な製造ラインなどの設備投資は減少しましたが、自動化や省力化のための設備やロボットの導入、リモートワークの増加によるソフトウェア投資などは増加しました。国外では、新型コロナウイルスが収束した中国を中心に資本財や電子デバイス、自動車の需要が回復し、日本からの輸出も増加傾向となりました。

このような状況のなかコレットチャック部門では、前期の流れを受け7月から受注は大きく減少して始まり、8月もさらに減少しましたが、9月は海外向けの量産部品が増加したことなどで受注は増加に転じました。

この結果、当セグメントの当第1四半期累計期間の売上高は230,653千円（前年同期比28.9%減）、セグメント利益は103,172千円（前年同期比38.0%減）となりました。

切削工具部門では、6月までの受注減少傾向を受け、7月は受注水準を切り下げた状態で始まり、8月もさらに減少しましたが、9月は量産部品が回復傾向になり少し動きが出てきたことで、受注もやや戻しました。

この結果、当セグメントの当第1四半期累計期間の売上高は103,332千円（前年同期比22.2%減）、セグメント利益は17,938千円（前年同期比40.6%減）となりました。

自動旋盤用カム部門では、カム式自動旋盤で加工する量産部品が大きく減少したことで、受注も半分程度に落ち込みました。

この結果、当セグメントの当第1四半期累計期間の売上高は3,798千円（前年同期比51.7%減）、セグメント利益は1,925千円（前年同期比50.6%減）となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は337,784千円（前年同期比27.4%減）、営業利益は62,389千円（前年同期比51.7%減）、経常利益は63,663千円（前年同期比51.1%減）、四半期純利益は43,886千円（前年同期比51.2%減）となりました。

セグメント別の売上は、以下のとおりであります。

(%表示は対前年同期比)

事業部門別	期別	第30期 第1四半期 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)		第31期 第1四半期 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)		第30期 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
コレットチャック部門		324	(90.0)	230	(71.1)	1,231	(83.7)
切削工具部門		132	(92.8)	103	(77.8)	503	(85.6)
自動旋盤用カム部門		7	(119.2)	3	(48.3)	25	(99.3)
合計		465	(91.2)	337	(72.6)	1,760	(84.5)

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,220,370千円（前事業年度末は7,447,080千円）となり226,710千円の減少となりました。これは、仕掛品が15,238千円、原材料が2,121千円増加しましたが、現金及び預金が199,904千円、受取手形及び売掛金が46,357千円減少したこと等によるものであります。

また当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,591,899千円（前事業年度末は1,572,212千円）となり19,686千円の増加となりました。これは、投資有価証券が3,139千円、繰延税金資産が1,231千円、建物及び構築物が1,122千円減少しましたが、機械装置及び運搬具が24,565千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における総資産は、8,812,269千円（前事業年度末は9,019,292千円）となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、161,010千円（前事業年度末は163,508千円）となり2,498千円の減少となりました。これは、未払法人税等が23,840千円、役員賞与引当金が9,440千円減少しましたが、未払金が36,212千円増加した等によるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、487,599千円（前事業年度末は493,892千円）となり6,292千円の減少となりました。これは、役員退職慰労引当金が2,350千円増加しましたが、退職給付引当金が8,642千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、648,609千円（前事業年度末は657,400千円）となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、8,163,659千円（前事業年度末は8,361,891千円）となり198,232千円の減少となりました。これは、利益剰余金が196,037千円、その他有価証券評価差額金が2,194千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の見通しにつきましては、2020年8月7日発表の業績予想どおりとしておりますが、当第1四半期累計期間において受注が大きく増減しているため、今後の予想については精査しているところであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,866,762	6,666,858
受取手形及び売掛金	341,543	295,185
製品	3,196	5,138
原材料	33,707	35,828
仕掛品	201,028	216,267
その他	1,084	1,276
貸倒引当金	△243	△183
流動資産合計	7,447,080	7,220,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	466,739	465,616
機械装置及び運搬具(純額)	488,305	512,871
土地	333,534	333,534
その他(純額)	8,834	8,645
有形固定資産合計	1,297,414	1,320,667
無形固定資産	2,360	2,797
投資その他の資産		
投資有価証券	101,081	97,941
長期前払費用	334	222
繰延税金資産	171,001	169,769
その他	1,078	1,557
貸倒引当金	△1,058	△1,058
投資その他の資産合計	272,438	268,433
固定資産合計	1,572,212	1,591,899
資産合計	9,019,292	8,812,269
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,477	14,144
未払金	62,605	98,818
未払法人税等	45,110	21,269
役員賞与引当金	11,000	1,560
その他	30,315	25,218
流動負債合計	163,508	161,010
固定負債		
退職給付引当金	374,372	365,729
役員退職慰労引当金	119,520	121,870
固定負債合計	493,892	487,599
負債合計	657,400	648,609

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	337,400	337,400
利益剰余金	8,564,772	8,368,735
自己株式	△841,335	△841,335
株主資本合計	8,353,337	8,157,299
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,554	6,359
評価・換算差額等合計	8,554	6,359
純資産合計	8,361,891	8,163,659
負債純資産合計	9,019,292	8,812,269

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)
売上高	465,173	337,784
売上原価	266,891	217,535
売上総利益	198,281	120,249
販売費及び一般管理費	69,144	57,859
営業利益	129,137	62,389
営業外収益		
受取利息	175	116
売電収入	758	835
貸倒引当金戻入額	118	59
その他	115	262
営業外収益合計	1,167	1,274
経常利益	130,304	63,663
特別利益		
固定資産売却益	73	—
特別利益合計	73	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	130,377	63,663
法人税、住民税及び事業税	39,230	17,600
法人税等調整額	1,245	2,177
法人税等合計	40,475	19,777
四半期純利益	89,902	43,886

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	324,417	132,884	7,871	465,173	—	465,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	324,417	132,884	7,871	465,173	—	465,173
セグメント利益	166,488	30,185	3,900	200,574	△71,437	129,137

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△2,292千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	230,653	103,332	3,798	337,784	—	337,784
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	230,653	103,332	3,798	337,784	—	337,784
セグメント利益	103,172	17,938	1,925	123,036	△60,646	62,389

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△2,787千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。